

31139	<b>精神看護学Ⅰ（心の健康とセルフマネジメント） a、 b</b> Psychiatric Nursing I (Self Management for Mental Health)		2 年次～ 後期 1 単位
担当者	栗原 加代／坂江 千寿子／池内 彰子	履修可能学科	N必
		関連資格	看護（N）
サブタイトル	心の健康を支えるための知識と技術		
授業内容 ・ ねらい	精神障がい者に関する国内外の歴史を概観し、精神障がい者をとりまく倫理的な課題について理解するとともに、看護に必要な相互作用とコミュニケーション技法の基本を学ぶ。また、精神障がい者の症状と生活への影響をセルフケア能力の変化の視点から理解し、自我強化に必要とされる認知行動療法、健康的側面を促進するためのレクリエーション、SST等の基礎技術を習得する。 教育目標 1. こころの健康を支える精神看護について学びを進めるための基盤となる諸概念について理解する。 2. こころの発達の特徴と生じやすい問題について理解し、それに対する看護を理解する。 3. 精神障がい者を取りまく環境および歴史の変遷を学び、精神障がい者のおかれている立場理を倫理的視点から検討する。 4. 対象—医療者の治療関係の成立過程、自己を活用したコミュニケーション及びセルフマネジメントの方法を理解する。 5. 精神障がい者が、社会復帰をするために必要な基礎的知識や技術を習得する。		
授業計画	1. 精神看護の目的と機能 2. 精神医療・看護の歴史（西洋） 3. 精神医療・看護の歴史（日本） 4. 精神看護に関わる倫理的問題についての検討・アサーション 5. 精神力動論・心の基本理解、自己理解・他者理解 6. 精神の理解に必要な、成長発達モデルと自我の成熟度、防衛機制 7. 対人関係において生じる、相互作用モデル 8. 治療関係の構築、患者—看護者関係の意義、ケアリング 9. 精神看護における対人コミュニケーション① カウンセリング技法の基礎 10. 精神看護における対人コミュニケーション② 看護場面の再構成 トレーニング法 11. ストレス・危機介入・PTSD 12. 依存症と看護 13. 薬物依存からの回復、DARC 14. 精神科リハビリテーション、レクリエーション療法、作業療法 15. 認知行動療法・SST		
教科書 参考書	教) 萱間真美ほか『精神看護学』（南山堂）2010 参) 吉松和哉ほか『精神看護学Ⅰ 精神保健学』（ヌーヴェルヒロカワ）2007、根岸敬矩ほか『保健・医療・福祉系学生のための臨床精神医学』（医学出版社）2008		
評価方法	試験、講義や演習の参加態度、提出物、出席状況等から総合的に評価する。		
事前準備学習 履修条件等			